

編集委員会から

特集号「バルク成形の加工限界とその関連技術」の原稿募集

本誌「塑性と加工」平成 29 年 3 月号（58 巻，674 号）では，標記の特集号を企画しております。製造業のグローバル化が進む中，これまで以上に塑性加工プロセスには高付加価値化が求められていくものと思われます。鍛造，押出し加工などバルク成形においても例外ではなく，難加工材料や難加工形状品のネットシェイプ化，高精度化，低コスト化など一段と高い技術レベルが要求されるようになってきており，バルク成形プロセスの工程設計においては，事前に加工限界因子を把握し，数値シミュレーションあるいは加工限界予測モデルを用いて最適加工条件を導出し，早期に試作から量産へ移行することが不可欠となっています。

本特集号では，これらのバルク成形に関連した技術のうち，加工限界と関わりの深い内容について紹介を予定しています。バルク塑性加工における加工限界に焦点をあて，その支配因子である延性破壊理論，スケール効果，数値シミュレーションを中心とした予測技術，あるいは加工性向上のための材料創生など関連する技術について，皆様の最近の研究・開発の成果を会員の皆様に情報発信したいと思っております。様々な観点からの本テーマへの積極的なご投稿を心よりお待ちしております。

なお，勝手ながら原稿の採否は編集委員会・校閲運営委員会にご一任くださいますようお願い申し上げます。

原稿募集：論文，総説論文，速報論文，資料

申込締切：平成 28 年 4 月 28 日（木）

“バルク成形の加工限界とその関連技術”と題し，原稿種別，題目，著者名，連絡先，および 100 字程度の概要をご記入の上，E-mail または FAX にてお申し込みください。

投稿締切：平成 28 年 5 月 31 日（火）

【申込先】日本塑性加工学会編集委員会（担当：倉田）

E-mail：kurata@jstp.or.jp

FAX：03-5733-3730